



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月15日

上場会社名 株式会社ビーグリー 上場取引所 東
コード番号 3981 URL <https://www.beagle.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 仁平
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 三吉 達治 (TEL) 03-6706-4000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	4,146	△11.8	469	△28.5	228	△43.9	212	△45.9	92	△54.7
2024年12月期第1四半期	4,701	0.6	656	4.8	407	10.1	393	10.6	203	20.7

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 92百万円(△54.7%) 2024年12月期第1四半期 203百万円(20.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	16.53	16.47
2024年12月期第1四半期	33.77	33.65

(注) 調整後EBITDA＝営業利益＋減価償却費(著作権の償却費を含む)＋のれん償却費＋敷金償却費＋株式報酬費用±その他の調整項目

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	16,240	7,461	45.9
2024年12月期	17,294	7,486	43.3

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 7,454百万円 2024年12月期 7,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	23.00	23.00
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		0.00	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当社の剰余金の配当は期末配当の年1回を基本方針としております。

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	19,593	6.2	2,775	△0.3	1,764	△1.3	1,709	△1.0	885	△32.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P8「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年12月期 1 Q	6,301,986株	2024年12月期	6,283,986株
2025年12月期 1 Q	716,353株	2024年12月期	716,353株
2025年12月期 1 Q	5,583,033株	2024年12月期 1 Q	6,029,280株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、インバウンド需要の増加や国内需要の回復等を背景に、社会経済活動の正常化が進み、企業活動や個人消費に持ち直しの動きがみられる等、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方で、米国の今後の政策動向、不安定な円相場やインフレによる経済停滞の懸念等、依然として不透明な事業環境が続いております。

当社を取り巻く事業環境は、紙の出版市場が縮小している一方で、電子出版市場は継続的に拡大しており、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2024」によると、2025年度の成長率は5%程度になると予測されており、今後も電子書籍及び電子コミックの市場規模は緩やかな拡大が続くことが予想されております。

このような市場環境の中で、プラットフォームセグメントにおいては、コミック配信サービス「まんが王国」のブランド構築に注力しつつ効率的な投資を、コンテンツセグメントにおいては、継続的なデジタル成長による安定的な利益創出を実行しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,146,836千円（前年同期比11.8%減）、営業利益は228,560千円（前年同期比43.9%減）、経常利益は212,772千円（前年同期比45.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は92,306千円（前年同期比54.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(プラットフォームセグメント)

プラットフォームセグメントの主力サービスであるコミック配信サービス「まんが王国」においては、ユーザーの訪問・定着・課金の流れを促し、課金者数と顧客単価を上げるべく、「お得感No.1」戦略による課金意欲の高いロイヤルカスタマーへの育成を継続するとともに、「まんが王国」内にて、一定時間経過するごとに1話が無料で読めるサービス「待ちコミ」の提供を開始し、幅広いユーザー層獲得のための販売促進活動を積極的に行いました。

一方で、アクティブユーザー数の減少傾向に加え、ライトユーザーの定着・育成に一定の時間を要す状況が続きました。その結果、「まんが王国」の売上高は前年同期比11.8%減となりました。

また、2025年3月には当社オリジナル作品「夜蜘蛛は蜜をすう〜結婚詐欺師と堕ちる女〜」を原作としたショートドラマが、ショートドラマアプリ「BUMP」にて配信されました。利益面においては、広告宣伝費を中心とした営業費用が前年同期比で減少いたしましたが、売上高の減少に伴い、売上総利益についても前年同期比で減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,660,595千円（前年同期比13.4%減）、営業利益は6,849千円（前年同期比94.7%減）となりました。

(コンテンツセグメント)

コンテンツセグメントにおいては、デジタルコンテンツを中心に、発刊点数の増加、電子書店ごとの特性や読者ニーズに沿った販売促進活動を積極的に行いました。また、紙出版においては、紙出版市場の縮小を鑑み、配本部数の管理及び価格設定等のコストコントロールを実施いたしました。

デジタル出版においては、読者の嗜好性に合わせたコンテンツの創出とジャンルの拡大を推進した一方で、前期における販売促進活動の奏功による増収効果の反動等から、売上高は前年同期比1.7%減となりました。

紙出版においては、配本部数のコントロール及び雑誌の隔月化や休刊を実施した結果、売上高は前年同期比25.6%減となりました。

このほか、2025年4月にはぶんか社から2作品がテレビドラマ化し、「黒弁護士の痴情 世界でいちばん重い純愛」がTOKYO MXにて放送、「子宮恋愛」が読売テレビにて放送されました。

利益面においては、紙出版収益が前年同期比で改善した一方で、デジタル出版収益が前年同期比で減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,542,638千円（前年同期比8.2%減）、営業利益は221,663千円（前年同期比20.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は16,240,141千円となり、前連結会計年度末に比べ1,054,439千円減少しました。

流動資産は7,709,111千円となり、前連結会計年度末と比べ870,793千円減少しました。これは主に、現金及び預金が764,431千円、売掛金が98,454千円減少したことによるものです。

固定資産は8,531,029千円となり、前連結会計年度末と比べ183,645千円減少しました。これは主に、無形固定資産が198,039千円減少したことによるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は8,778,309千円となり、前連結会計年度末に比べ1,029,734千円減少しました。

流動負債は7,248,309千円となり、前連結会計年度末に比べ774,734千円減少しました。これは主に、未払金が125,663千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が615,805千円、未払法人税等が133,583千円、未払消費税等が69,135千円、返金負債が83,087千円減少したことによるものです。

固定負債は1,530,000千円となり、前連結会計年度末と比べ255,000千円減少しました。これは、長期借入金が255,000千円減少したことによるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は7,461,831千円となり、前連結会計年度末に比べ24,704千円減少しました。これは主に、利益剰余金が35,749千円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、45.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月14日の「2024年12月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,118,725	4,354,294
受取手形	26,372	23,711
売掛金	3,266,083	3,167,629
商品及び製品	63,594	61,177
貯蔵品	459	411
前渡金	30,451	31,537
前払費用	74,842	76,004
未収入金	6,370	1,247
その他	912	749
貸倒引当金	△7,907	△7,651
流動資産合計	8,579,904	7,709,111
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,662	14,662
建物附属設備	75,258	76,491
工具、器具及び備品	156,125	161,044
減価償却累計額	△181,863	△186,573
減損損失累計額	△1,602	△1,602
有形固定資産合計	62,580	64,022
無形固定資産		
のれん	7,737,721	7,590,059
ソフトウェア	91,852	84,014
コンテンツ資産	218,740	215,497
ソフトウェア仮勘定	7,500	7,353
コンテンツ資産仮勘定	6,013	6,197
著作権	275,333	236,000
その他	1,032	1,032
無形固定資産合計	8,338,195	8,140,155
投資その他の資産		
敷金及び保証金	174,439	174,439
繰延税金資産	120,780	134,389
その他	18,680	18,023
投資その他の資産合計	313,899	326,851
固定資産合計	8,714,675	8,531,029
資産合計	17,294,580	16,240,141

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,228,859	2,613,054
短期借入金	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,020,000	1,020,000
未払金	228,061	353,725
未払費用	42,944	30,956
未払法人税等	285,461	151,877
未払消費税等	139,947	70,811
契約負債	568,950	546,958
返金負債	299,948	216,861
預り金	55,357	111,577
その他	153,513	132,486
流動負債合計	8,023,044	7,248,309
固定負債		
長期借入金	1,785,000	1,530,000
固定負債合計	1,785,000	1,530,000
負債合計	9,808,044	8,778,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,906,359	1,910,859
資本剰余金	1,905,859	1,910,359
利益剰余金	4,712,788	4,677,039
自己株式	△1,043,514	△1,043,514
株主資本合計	7,481,492	7,454,743
新株予約権	5,043	7,088
純資産合計	7,486,535	7,461,831
負債純資産合計	17,294,580	16,240,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	4,701,950	4,146,836
売上原価	3,066,222	2,747,556
売上総利益	1,635,728	1,399,279
販売費及び一般管理費	1,228,532	1,170,718
営業利益	407,195	228,560
営業外収益		
受取利息	15	1,336
受取返戻金	638	—
その他	120	345
営業外収益合計	773	1,681
営業外費用		
支払利息	11,459	14,277
融資手数料	1,302	1,291
その他	1,555	1,901
営業外費用合計	14,317	17,470
経常利益	393,652	212,772
税金等調整前四半期純利益	393,652	212,772
法人税、住民税及び事業税	190,016	120,465
法人税等合計	190,016	120,465
四半期純利益	203,635	92,306
親会社株主に帰属する四半期純利益	203,635	92,306

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	203,635	92,306
四半期包括利益	203,635	92,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,635	92,306

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	プラットフォーム セグメント	コンテンツ セグメント	計		
売上高					
自社配信	2,865,464	—	2,865,464	—	2,865,464
他社配信	86,363	1,176,076	1,262,439	—	1,262,439
紙出版	—	328,566	328,566	—	328,566
その他	118,402	127,076	245,479	—	245,479
顧客との契約から生じる収益	3,070,230	1,631,719	4,701,950	—	4,701,950
外部顧客への売上高	3,070,230	1,631,719	4,701,950	—	4,701,950
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,160	48,285	49,446	△49,446	—
計	3,071,391	1,680,005	4,751,396	△49,446	4,701,950
セグメント利益	128,339	278,805	407,145	50	407,195

(注) 1. セグメント利益の調整額50千円は、全社費用及びセグメント間取引相殺消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	プラットフォーム セグメント	コンテンツ セグメント	計		
売上高					
自社配信	2,546,446	—	2,546,446	—	2,546,446
他社配信	51,373	1,161,533	1,212,907	—	1,212,907
紙出版	—	254,278	254,278	—	254,278
その他	48,675	84,528	133,203	—	133,203
顧客との契約から生じる収益	2,646,495	1,500,340	4,146,836	—	4,146,836
外部顧客への売上高	2,646,495	1,500,340	4,146,836	—	4,146,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,100	42,298	56,398	△56,398	—
計	2,660,595	1,542,638	4,203,234	△56,398	4,146,836
セグメント利益	6,849	221,663	228,512	47	228,560

(注) 1. セグメント利益の調整額47千円は、全社費用及びセグメント間取引相殺消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年3月28日 定時株主総会	普通株式	90,439	15.00	2023年12月31日	2024年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年3月27日 定時株主総会	普通株式	128,055	23.00	2024年12月31日	2025年3月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,500千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,910,859千円、資本剰余金が1,910,359千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	100,933千円	90,264千円
のれんの償却額	147,662 "	147,662 "